

作曲者 安広真理さんからのメッセージ(抜粋)

「ねがい」は、中学生がこの地球に住む人間(生き物)が幸せに生きるためには何が必要だろうかと、真っ直ぐに見つめ、語っています。そのシンプルな一言一言に、この詞を読む人は惹かれるのだと思います。

なので、演奏する時は、この曲の特徴であるリズムを、重くならずサラサラと歌うためには、やはり軽やかに、縦の動きよりも横の流れを感じて歌うといいように思います。大人で歌うのには難しい歌だと思いますが、中学生の言葉を率直に表現することで、私たち大人が今の世界のあり方を見つめ直すきっかけになれば…と思っています。

指揮者 山本恵造さんより 歌い方について

「ねがい」

- ① ミサイル、ぱくおん、じらいの小節は3拍目に四分休符を入れる。
- ② 歌の最後の小節の四分休符はなしで、4拍とする。
- ③ 4番の「このねがい」の前の間奏で歌い手は前を向いて歌う。それまでは視線は指揮者とする

「みんな一緒に」

- ① テンポは♩=140とする。
- ② 最初から最後まで前を向いて歌う。
- ③ 簡単な振り付けがあります。全員ですると効果的なのでビデオを参考に挑戦してください。

「みんな一緒に」の振り付け

- ① 1番かっこ(35小節)の「ライライライライ ライライライライ ライライライライ ララララーイ」のとき
肘を曲げた両腕を、脇の横で手の平をグーにして段々上げていく。下線のところが頂点でパッと手を開いて外に広げて下ろしていく。身体は少し20度くらい?右向き。
次の「ライライライライ ライライライライ ライライライライ ララララーイ」では体のサイドから手の平を上に向けて両手を正面まであげて、下線のところからおろしていく。
- ② 2番かっこ(45小節)の「アーアッハッハー アーアッハッハー アーアッハッハー アーアッハッハー」のとき
身体(先にひざを曲げて1拍目の時にアップ)をダウンアップ ダウンアップ ダウンアップ ダウンアップとリズムをとる(18回) 両手は肘を軽く曲げ自由に。手は軽く握る。
- ③ 3番かっこ(55小節)の「ライライライライ ライライライライ ライライライライ ララララーイ」のとき
肘を曲げた両腕を、脇の横で手の平をグーにして段々上げていく。下線のところが頂点でパッと手を開いて外に広げて下ろしていく。身体は少し20度くらい?今度は左向き。
次の「ライライライライ ライライライライ ライライライライ ララララーイ」では体のサイドから手のひらを上に向けて両手を正面まであげて、下線のところからおろしていく。
- ④ 63小節からの「アーアッハッハー アーアッハッハー アーアッハッハー アーアッハッハー」のとき
(②と同じ)
- ⑤ 67小節の前で動きを止めて正面を向いて歌いきる。